

## 今後の取組方向について（論点ペーパー）

### 1. 自然増対策

- 平成 28 年は目標を達成したものの、今後、出産適齢期の女性（20～39 歳）の人口が年々減少するなか、年間 4.4 万人の出生数を維持していくためには、女性人口の確保、婚姻率・出生率向上などの対策をさらに強化していく必要がある
- 出生数の確保とともに自然増（＝人口維持）対策として重要なのが、アクティブ・シニア（元気高齢者）の増加である。地域の元気づくりの側面からもその活躍を後押ししていく必要がある

#### （出産適齢期の女性人口確保）

- ・大学卒業生の県内定着・UJI ターンの促進等の社会増対策の強化
- ・若い女性を惹き付けるまちづくり：若い女性に対し、SNS 等を活用して、どのように都市の魅力を情報発信していくべきか？

#### （婚姻率の上昇）

- ・女性のためのキャリアプランニング支援
- ・職場・職域を超えた出会いの機会創出
- ・若者の出会い・結婚へのきっかけとなる新たな結びつき、ネットワークの形成：趣味や関心のテーマ・コミュニティ、SNS コミュニティ

#### （子育て支援）

- ・保育園の整備等の教育・保育環境の整備加速化
- ・子育てに係る経済的支援の充実
- ・地域ぐるみでの子育て支援対策の強化
- ・三世帯同居、近居の促進

#### （働きやすい職場づくり）

- ・長時間労働の是正、育児休暇取得しやすい、20 代で第 1 子を持つ職場環境の整備など、働き方改革の取組に対する事業所へのインセンティブ付与
- ・WLB の先導的事業所の周知促進
- ・若者の正規雇用化の促進：キャリアアップ研修支援

#### （高齢者の社会参加と健康寿命の延伸）

- ・社会全体で個人の社会参加と健康づくりを支える仕組みの構築
- ・高齢になる手前の世代が健康づくりへのモチベーションを上げるための意識改革
- ・多自然地域における社会参加の場への足の確保

## 2 社会増対策

- 転出超過は平成27年よりも若干減少し、5年ぶりに拡大が止まったものの、依然実績は目標を下回っている。
- 転出超過の多くは東京圏等で就職する若年層であり、その県内への定着対策及びUJIターン対策を強化していく必要がある。
- 他方、西日本などからは依然転入超過ではあるものの、その数は減少傾向にあり、県内への呼び込み対策を強化していく必要がある。

### (人材の定着・流入促進)

- ・大学、企業と連携した若者のキャリア形成支援（キャリアプラン作成、フィールド学習、就業体験等）
- ・SNS等を活用した地域のしごとの魅力発信：地域の様々なしごとについて、そのしごとならではの魅力を発信（オンリーワンの仕事であることをアピール）
- ・既卒者相談ネットワークの充実強化
- ・県内への進学・就職を考える若年層へのひょうごのライフスタイルの魅力発信キャンペーン

### (地域間交流の促進)

- ・二地域居住の拡大（第二市民制度の創設促進）
- ・都市と農村間でのシェアリング・エコノミーの構築、新たな物流システムの構築（地産地消の促進）
- ・交流を促進する移動手段の確保（移動パスの提供など）

### (移住・定住の促進)

- ・移住・UJI支援ワンストップ・サービスの充実
- ・お試し住宅の整備促進
- ・空き家の有効活用、改修促進
- ・地域産業、地場産業でのしごと体験の機会提供
- ・地域資源を活用した起業支援

### (ふるさと意識の醸成)

- ・フィールド学習の普及拡大：小学生～中学生～高校生と続くひょうごの体験教育を、大学生等の若者にどのように拡大していくべきか？
- ・兵庫のサポーターづくり：SNS、同窓会人脈等を活用した若者ネットワークの形成

### 3 地域の元気づくり

- 有効求人倍率が平成以降で最高を更新する中、人手不足が経済成長のボトルネックとなる可能性が高まりつつある。このため、就業者の裾野の拡大・人材育成、省力化投資による生産性の向上を促進していく必要がある。
- 人口減少下により消費市場が縮小するなか、経済成長を持続的に達成していくには、外貨の獲得が必須。企業の海外展開やインバウンドの拡大を支える基盤づくりが今後ますます重要になる。
- 国を上回る経済成長を実現していくには、研究開発の拡大等によりイノベーションを加速化していくとともに、付加価値の高い産業の創出による産業構造の転換を促進していくことが重要になる。

#### (就業者の裾野の拡大・人材育成)

- ・若者に対する多様な就業体験（インターン）の機会提供
- ・女性・高齢者の就業促進を図る仕組みづくり
- ・中小企業の経営力強化に向けた専門人材の確保
- ・成長産業分野や労働需要が高い分野での人材育成：次世代の担い手創出

#### (産業・投資の活性化)

- ・県外三大都市圏等からの本社機能や研究開発機能の移転促進
- ・次世代産業への投資促進
- ・オンリーワン企業の発掘・育成：世界に通用する優れた技術・製品を有する中小企業の成長促進

#### (イノベーションの創出)

- ・世界最高水準の科学技術基盤を活用した新産業の創出
- ・兵庫発イノベーションを促進する新たな産学官連携の推進、オープン・プラットフォームの構築
- ・新たなサプライ・チェーン、バリュー・チェーン構築への支援
- ・IoT や人工知能(AI)などの技術革新への対応
- ・地域資源を活用した新たなビジネスモデルの創出
- ・都市近郊の施設園芸の育成や先進的技術の導入など農のイノベーションの取組強化

#### (世界化の推進)

- ・アジア、アフリカ等の新興国での海外展開に対する支援
- ・外国人留学生等の有効活用
- ・外国・外資系企業の県内進出の加速化
- ・「兵庫の食文化」の世界への発信：どのようなブランド戦略を構築していくべきか
- ・関西 3 空港の有効活用と国際港湾としての神戸港の機能向上